

うるま市立田場小学校 「子どもの居場所づくり」に教育文化助成金を活用



うるま市立田場小学校 校長 稲嶺 盛也

☆オンライン配信で音楽鑑賞会

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、これまで当たり前に行われてきた学校行事が制限されてきました。特に、子どもたちが楽しみにしてきた「演劇鑑賞会」や「音楽鑑賞会」等の文化的行事の開催中止も余儀なくされてきました。そこで、三密を避けるため、学年を制限し残りの学年は、各教室でオンラインによる鑑賞会を実施しました。



☆子どもの居場所づくり：個別型学習ルームの設置

長引くコロナ禍で、徐々に不登校や登校渋りの子ども達が増加してきました。そこで、新たに学習ルームを設置。助成金を活用し、個別にホワイトボードを購入し、個々の学習計画を立てさせ個に応じた学習を実施しました。徐々に不登校や登校渋りの子ども達も減少していきました。



この度は本校へのご支援、心より感謝いたします。誠にありがとうございました。

伊波 興穂教諭 (沖縄盲学校) が全国で最優秀賞を受賞

第27回日教弘教育賞において、全国から学校部門で67編、個人部門で54編、計121編の研究実践論文が寄せられるなか、沖縄支部から推薦の沖縄県立沖縄盲学校の伊波 興穂教諭が、個人部門で「最優秀賞」を受賞しました。

他2編も「優良賞」を受賞し、素晴らしい結果となりました。

※所属は受賞当時のものです。

個人部門 【最優秀賞】 沖縄県立沖縄盲学校 教諭 伊波 興穂
【優良賞】 沖縄県立南部農林高等学校 教諭 徳永 公男

学校部門 【優良賞】 沖縄県浦添市立沢岬小学校 校長 金城 孝子
「組織的な体制の「構築」から「機能化」へつなぐ学校組織マネジメント」
～連携・連動し「学びを止めない」実践～

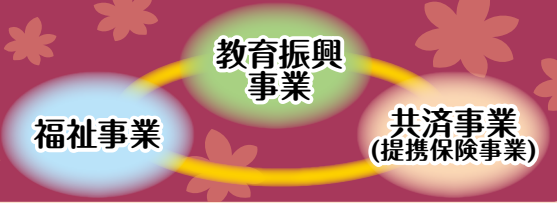


岩田将之理事長が来賓し、授与式が行われました

受賞者の方々の論文は、今年発行予定の『令和3(2021)年度 教育実践研究論文集第29号』に掲載いたします。📖



公益財団法人 日本教育公務員弘済会沖縄支部は、
「教育の振興」と「教職員の福祉向上」を目的として
3大事業を行っています。
今年度実績は下記の通りです。(教育実践研究論文は前年度実績)



1. 教育振興事業

1 奨学事業 ~無利子で奨学金を貸与・給付~



有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付を行っています。
本年度は6月30日(木)に募集を締め切り、選考委員会及び幹事会の議を経て日教弘本部へ推薦しました。

		2022 (令和4) 年度実績	累計
貸与奨学金	国立私立大学院、大学、短大等の学生 に最高100万円を無利子で貸与。	48名 41,500,000円	5,741名 2,759,800,000円
	県内の公立・私立の高等学校等の生徒 を対象に給付。(1校3名以内)	283名 14,150,000円	4,635名 231,750,000円

2 教育研究助成事業 ~教育研究や実践活動の支援~



学校、教職員及び教育関係団体等が行う教育に関する特に有益な研究(活動)に助成しています。
本年度は6月30日(木)に募集を締め切り、選考委員会において選考し、幹事会で決定しました。

学校研究助成 141校 14,100,000円 2022 (令和4) 年度実績

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
1	那覇市立宇栄原小学校	平良 健治	児童一人一人の夢を育む、明日も行きたくなる学校づくり
2	那覇市立松島小学校	松岡 泰成	思考力・判断力・表現力を育む授業づくり(2年次) ~算数科における「かく活動」を通して~
3	金武町立中川小学校	山川 幸宏	「みんなが安心して学べる学級・授業づくり」 ~他者との関わり工夫を通して~
4	浦添市立内間小学校	棚原 歩	「進んで体を動かし、自分の体力を知ろうとする児童の育成」 ~体育の授業の工夫、改善を通して~
5	東村立東小学校	永野 正也	多層指導モデルMIMを活用した「読み」の指導
6	北谷町立北玉小学校	桑江 常健	根拠や理由を示して自分の考えや意見を表現できる児童の育成 ~算数用語を用いた説明スキルの研究を通して~
7	那覇市立大道小学校	吉村 聡子	「自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成」 ~児童一人一人に「確かな学力」を育むために~
8	宜野座村立松田小学校	松田 和美	思考力・表現力を育む指導の工夫 ~自分の思いや考えを表現できる児童の育成をめざして~
9	宜野座村立漢那小学校	米高 陸子	他者とかかわりながら主体的に学ぶ児童の育成 ~「問い」が生まれる授業実践を通して~
10	名護市立久辺小学校	上間 享	自分の考えをもち、表現できる児童の育成 ~「読む力」を高める指導の工夫改善を通して~
11	久米島町立美崎小学校	山里 昌樹	島に誇りを持ち、未来に向かって創造的に働きかける力を身に付けた児童の育成 ~総合的な学習の時間における、地域教育資源を活用した環境教育を通して~
12	那覇市立天妃小学校	武富 剛	自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成 ~道徳科の授業を要とする道徳教育の充実を目指して~
13	本部町立本部中学校	渡久地 政孝	自ら考え、自ら学び、自ら探究する生徒の育成 ~地域を知り、地域とつながる活動を通して~
14	南城市立大里南小学校	田山 宗則	主体的に学ぶ児童の育成 ~「問い」のつながりを生かした数学的活動を通して~
15	宮古島市立伊良部島小学校	與那覇 盛彦	主体的に学び高め合う児童の育成 ~授業のユニバーサルデザインと学級力向上プロジェクトの実践を通して~
16	那覇市立上間小学校	宮里 寧	「問い」をもち、主体的に学ぶ児童の育成 ~国語科の説明文における授業改善を通して~
17	竹富町立波照間小中学校	馬上 晃	主体的・対話的に学習し、じりつできる児童生徒の育成 ~技術科の「ものづくり×プログラミング」学習を通して~
18	うるま市立勝第二中学校	興志平 洋子	自ら考え、自ら学び、自ら探究する生徒の育成 ~ICT機器を効果的に活用した「個別最適な学びと協働的な学び」を通して~
19	金武町立金武中学校	平田 修	生徒理解に基づいた学級経営(つながり、支え合う学級)と教科経営(協同学習を取り入れた授業)
20	うるま市立具志川中学校	大舩 勝彦	自己の実現に向かって、主体的に考え、行動できる生徒の育成 ~指導との一体化を図る評価の工夫を通して~
21	宜野座市立嘉数中学校	玉城 健蔵	「主体的に学習に取り組む生徒の育成」 ~結-ENを活用した組織的な生徒理解・生徒支援を通して~
22	名護市立久辺中学校	金城 健一	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ~学びの意義や価値を実感し自己肯定感を高める~
23	大宜味村立大宜味中学校	具志堅 仁一	生徒一人一人の「危機回避能力の育成」を目指して ~学校・地域・関係機関が連携した防災教育の取組~
24	八重瀬町立東風平中学校	仲間 靖	学びに向かう生徒の育成 ~学校教育活動全体において、生徒の自己肯定感を高める取組を通して~
25	石垣市立名蔵中学校	入高西 清幸	キャリア発達を促す、授業作り・授業改善
26	那覇市立石嶺中学校	仲嶺 香代	GIGAスクール構想の下、ICTを活用した指導形態の工夫 ~「個別最適な学び・協働的な学び」の充実~
27	うるま市立立勝第二中学校	與志平 洋子	地域と共にある魅力ある学校づくり ~デジタルの力を活用した教育活動の展開~
28	うるま市立石川中学校	山内 ひとみ	自律し、互いに尊重できる生徒の育成 ~SEL8Sの意図的な取組を通して~
29	那覇市立松島中学校	喜屋武 浩司	SDGs(持続可能な開発目標)の達成のために、学校における教育課程を適切に編成し、教師や生徒が持続可能な学校や社会のあり方を学ぶとともに、社会に開かれた教育課程を目指す
30	名護市立久志中学校	松田 しずか	思いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成 ~つきたい資質・能力を焦点化した特別活動の取組を通して~
31	沖縄県立美咲特別支援学校 総合教育センター分教室	粟國 静夫	企業就労を目指した職業教育の充実 ~分教室における職業科の授業展開・発展を目指して~
32	沖縄県立那覇みらい支援学校	新垣 ゆかり	障害の状態に応じた教科指導と授業者支援システムにおける授業改善 ~教科専科の配置と校内相談の充実~
33	沖縄県立桜野特別支援学校	幸地 英之	「学習指導要領を踏まえた授業改善」
34	八重瀬町立新城幼稚園	徳元 清政	カリキュラムマネジメントの適切な実施について ~RPDCAサイクルを活用した保育実践を通して~
35	沖縄市立宮里幼稚園	長尾 順子	一人一人が主体的に遊びに取り組むことができる学校づくり ~幼児理解と保育改善を通して~
36	西原町立西原幼稚園	大庭 真由美	道徳性や規範意識の芽生えにつながる援助や環境の工夫 ~幼児が主体的に取り組めるような環境づくり~
37	読谷町立古堅南幼稚園	新川 健次	絵本やお話の世界を通して幼児の心が揺り動かされ、楽しさやイメージする力が豊かになるための援助の工夫

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
38	金武町立中川幼稚園	山川 幸宏	「生き生きと活動する子どもを目指して」～からだ育てばこころが育つ～
39	うるま市立高江洲幼稚園	平田 治子	必要な習慣を身につけ見通しを持って行動できる子の育成～健康な心と体を育む援助の工夫～
40	うるま市立具志川幼稚園	水流 伸夫	園児が自ら自然物にかかわって遊ぶようになる環境構成の工夫
41	宜野湾市立宜野湾幼稚園	甲斐 達二	意欲的に身近な環境にかかわり、友達と一緒に夢中になって遊ぶ子の育成
42	石垣市立あらかわこども園	小瀬 美智	幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進～3歳から1年生へ育ちと学びを繋ぐ～
43	石垣市立まきらこども園	新垣 由子	心豊かな思いやりのある子の育成～動植物のかかわりとおとして～
44	石垣市立白保小学校	松尾 望	互いに認め合う児童の育成～SDGsの視点を取り入れた教育活動を通して～
45	石垣市立吉原小学校	大浜 公三枝	なかまとともに、安心して、よく学ぶ子どもの育成～地域資源を生かした教育活動を通して～
46	石垣市立明石小学校	神谷 貴子	生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指す実践
47	北谷町立浜川小学校	山城 勝美	主体的に学びの中で 伝え合い・認め合う児童の育成
48	名護市立名護小学校	仲宗根 勝也	「個別最適で協同的な学び」の実現に向け、「きく」を指針した学級経営と授業改善
49	那覇市立城北小学校	石川 博基	国語科の「読む力」を育む指導の工夫改善を行い、読んで学んだことをいかして考えを表現する児童の育成
50	南城市立百名小学校	仲村 保	コミュニティ・スクールを核とした特色ある学校づくりの工夫～農園を生かした生活科の学習を通して～
51	名護市立大宮小学校	比嘉 悟	「主体的・対話的で深い学び」を追求する授業改善～ICT等の良さを生かした指導の工夫を通して～
52	本部町立瀨底小学校	島袋 ゆかり	地域と連携し作物を育てることからSDGsを考える～12つくる責任 つかう責任 15陸の豊かさを守ろう～
53	読谷村立古堅小学校	中山 幸浩	自らの考えを伝え、他者の考えを理解し問題を解決しようとする児童の育成～算数科での指導を通して～
54	豊見城市立豊崎小学校	平良 淳	共に学び合い、自己を表現できる児童の育成～深い学びに向かう対話的活動の工夫～
55	本部町立上本部小学校	玉城 史江	「確かな学力」を育み伸ばす小中一貫教育～言語活動の2つの側面をつなぐ授業づくり～
56	与那原町立与那原小学校	宮里 秀樹	自分の考えを表現できる児童の育成～振り返り活動の充実を目指して～
57	うるま市立平敷屋小学校	兼島 栄	主体的・対話的で深い学びに向かう児童の育成を目指した授業改善
58	うるま市立城前小学校	新城 雅文	主体的・対話的で深い学びに向かう児童の育成～授業のユニバーサルデザイン化を通して～
59	那覇市立高良小学校	上原 妙子	一人一人が笑顔で登校しなくなる学校づくり～授業改善と児童理解の促進を通して～
60	浦添市立当山小学校	奥間 千賀子	主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業づくり
61	南風原町立津嘉山小学校	瑞慶覧 長洋	見通しをもって、自主的・自立的に学習する児童の育成～学びを深める「学び合い」と「振り返り」の充実を通して～
62	名護市立久志小学校	松田 しずか	思いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成～つきたい資質・能力を焦点化した特別活動の取組を通して～
63	南風原町立南風原中学校	當間 保	GIGAスクール構想～一人1台端末を活用した授業改善～
64	豊見城市立伊良波中学校	伊井 秀治	確かな学力を身に付け、主体的に学び合い高め合う生徒の育成～ICT機器の活用と生徒指導の4機能を踏まえた授業改善を通して～
65	沖縄市立沖東中学校	上原 謙 哲	自動採点・集計ソフトを活用し、定期・単元テスト、諸学調査等における効率的な処理について
66	南城市立佐敷中学校	與那嶺 仁	「学びの質を高める授業づくり」～生徒指導の4つのポイントを意識した教育活動の実践を通して～
67	糸満市立潮平中学校	宣保 博哉	「地域とともにある学校」づくりを推進するため、コミュニティスクールとして中核の構築をめざす
68	読谷村立読谷中学校	與那嶺 直樹	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～ICT機器（タブレット）を活用した授業～
69	沖縄県立那覇工業高等学校 定時制課程	宮城 哲夫	部活動活性化による学校の魅力作りの研究
70	沖縄県立名護商工高等学校	大城 正	地域に根ざした観光学習の実践及び地元食材を活用した商品開発の実践学習
71	沖縄県立那覇高等学校	石原 啓	教育DXを活用した学習指導の工夫・改善～1人1台端末の本格運用に対応した指導力の向上を目指して～
72	沖縄県立八重山農林高等学校	與那嶺 国彦	教職員が協働して作り上げる学校ビジョンと教育課程の編成を目指して
73	沖縄県立南部商業高等学校	高島 勇治	早期進路決定にむけた積極的な進路活動を目指して～個性を生かした将来について考える～
74	沖縄県立島尻特別支援学校	中山 充雄	ポッチャ競技を通してコミュニケーション能力を育む
75	宜野湾市立普天間小学校	根路銘 国哉	主体的に学習に取り組む児童の育成～結・ENを活用した児童理解と組織的な取り組み～
76	名護市立稲田小学校	玉城 武利	自分の思いや考えを伝え合うことのできる児童・生徒の育成
77	石垣市立川原小学校	石田 美喜子	「川原っ子農園会社」で地域に笑顔をとげよう～農業生産活動「プロジェクトK」を通して～
78	読谷村立渡慶次小学校	宮城 信夫	主体的に学ぶ児童の育成～対話でつながる授業を通して～
79	南城市立大北小学校	平良 正哉	「主体的・対話的で深い学び」を育む教育実践を目指して～コミュニケーション能力を高める活動を通して～
80	那覇市立銘苅小学校	宮國 義人	「児童の自己肯定感を高める学級活動の工夫」及び「ふるさと意識を育む地域学習教材の充実」
81	八重瀬町立東風平小学校	慶田 盛 元	地域に開かれた学校づくり～東風平小「花咲かせ隊」の活動を通して～
82	八重瀬町立新城小学校	徳元 清政	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」～コロナ禍における学習者主体の学習方法へ向かわせる授業改善～
83	那覇市立城西小学校	仲地 千佳	互いを認め、学び、高め合う児童の育成～国語科における「話すこと・聞くこと」の領域の指導を通して～
84	うるま市立西田場小学校	稲福 盛也	お互いを認め合い、協働して課題解決することのできる児童の育成～「SEL-85の取り組みを通して～
85	名護市立瀨喜田小学校	伊波 勉	地域と共にあり、地域の持続可能な発展を共に拓く学校づくり～コミュニティ・スクール制度を通して～
86	豊見城市立伊良波小学校	當間 朝成	問いを持って学びに向かう児童の育成～国語科の学習過程の工夫において～
87	那覇市立城東小学校	金城 光明	学び合い・高め合う授業づくり～文学的な文章における「読み・書き」関連の言語活動を通して～
88	うるま市立高江洲小学校	平田 治子	自他を大切に、ともに学び合いながら考えを深める子の育成～SEL-85の実践を通して～
89	南風原町立翔南小学校	竹下 晴康	正確に読み取り適切に表現することのできる児童の育成～国語科におけるアウトプット型授業の指導を通して～
90	糸満市立光洋小学校	川満 恵昌	児童一人一人の表現力を豊かにする授業づくり～数学的な表現力を高める授業の研究を通して～
91	宜野湾市立大謝名小学校	玉村 かおり	自分の思いや考えを表現できる児童の育成～主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを通して～
92	宮古島市立鏡原小学校	花城 修	「言語活動の充実を目指した授業づくり」～国語科説明教材の指導を通して～
93	南城市立糸満南小学校	上江洲 学	魅力ある学校づくりの実践について～安心安全な登下校の実現に向けて～
94	南城市立知念小学校	金城 奈津子	友達と協働して問題を解決する児童の育成～学習を深める学び合いを通して～
95	南城市立船越小学校	天久 三千代	すべての子がいきいきと活動し、伝え、認め合う体育学習～仲間とともに活動し、楽しさや喜びを共感できる授業を通して～
96	嘉手納町立嘉手納小学校	平良 好光	数学的な見方・考え方を働かせて学ぶ子の育成～主体的・対話的で深い学びを通して～
97	与那原町立与那原東中学校	新垣 典彦	校内OJTを生かした教員力向上の取り組み
98	うるま市立具志川東中学校	與那嶺 剛	学校におけるシステムティックないじめ対策の構築について
99	南城市立玉城中学校	伊敷 尚也	GIGAスクール構想の実現とICTを活用した授業改善、研修の充実
100	宮古島市立北中学校	久高 三彦	緑化活動を通じた生徒の豊かな心の育成
101	南城市立知念中学校	志伊良 洋子	主体的・対話的で深い学びに向かう力と学びの質を高める「授業改善」
102	恩納村立うんな中学校	具志堅 博昭	PC端末を効果的に活用した個別最適な学びによる基礎学力の定着
103	八重瀬町立具志頭中学校	大湾 悟	「主体的に学習に取り組む生徒の育成」～授業における振り返りの活動を通して～
104	南風原町立南星中学校	宮城 弘之	「魅力ある学校づくり」の視点を踏まえた学力向上推進計画の実践を通じた魅力ある学校の実現を目指して
105	那覇市立真和志中学校	金城 久枝	指導と評価の一体化を目指したテスト改善～AnswerBoxCreatorの活用を通して～
106	沖縄県立球陽中学校	平良 淳	生徒の自発的、自立的な活動の育成～生徒会、専門委員会、学級の連携を通して～
107	沖縄県立前原高等学校	宮城 敏也	ICTを活用した次世代の学習環境の構築
108	沖縄県立南部工業高等学校	外間 昌繁	全国技能五輪大会配管部門における教材研究ならびに生徒支援研究
109	沖縄県立小禄高等学校	上地 勇人	コロナ禍における生徒の自己管理能力の育成を図る研究～スケジュール手帳の活用を通して～
110	沖縄県立本部高等学校	永山 俊	地域の伝統の継承と未来創造に寄与する生徒の育成～中学校・保護者及び地域への積極的な情報発信を通して～
111	沖縄県立球陽高等学校	平良 淳	HR教室でICT活用
112	沖縄県立沖縄工業高等学校	大城 栄三	沖縄のSDGs（海のゴミ問題）
113	沖縄県立宜野湾高等学校	仲宗根 勝	電子黒板機能付きプロジェクト無線化整備～生徒主体の授業を展開するために～
114	沖縄県立北山高等学校	眞榮田 義光	高校GIGAスクール構想推進に係る学習環境の構築
115	沖縄県立泊高等学校 定時制課程午前部	上地 さとみ	生徒の自己肯定感の醸成に向けた取組
116	沖縄県立南風原高等支援学校	西原 誠	地域社会と連携した職業教育の充実
117	沖縄県立やえせ高等支援学校	高島 勇治	主体的かつ協働的に取り組む態度を養う学習指導～トータルクリーニングにおける授業改善を通して～
118	沖縄県立沖縄高等特別支援学校	城間 政次	寄宿舎における人権尊重を基盤とした性教育実践研究
119	社会福祉法人以和興会 玉城こども園	名嘉 紀勝	「地域文化の継承を目指して」伝統行事・文化に触れ、地域行事にも積極的に参加し交流の機会を設ける

No.	学校名	学校長名	研究テーマ
120	幼保連携型認定こども園なごみの広場	杉本 洋介	子ども達の集団での遊びを深め、体を動かすことの楽しみ、意欲、能力を向上させていく遊びの展開
121	南風原町立南風原小学校	與那嶺 靖	児童一人一人が成長する楽しさを実感する学校 ～人権教育と環境教育の充実～
122	久米島町立久米島小学校	古賀 義之	互いに伝え合い、深い学びを追求する児童の育成
123	那覇市立古蔵小学校	仲間 一史	有用感・肯定感のある主体性の高い児童の育成 ～全ての児童に居場所のある学級活動の工夫を通して～
124	浦添市立前田小学校	新川 美紀	つながりかわりながら、深めた考えを伝えられる児童の育成
125	南城市立玉城小学校	大城 直也	自分の考えをもち、学び合う児童の育成 ～思考ツールを用いた授業づくりを通して～
126	久米島町立仲里小学校	野原 洋子	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を目指して ～特別支援教育の視点を生かした授業づくりを通して～
127	うるま市立南原小学校	新城 剛	共に学び合い伝えあうことのできる児童の育成 ～ICTを活用した授業づくりの工夫改善を通して～
128	豊見城市立上田小学校	上原 千秋	自分の考えをもち、広げ深める児童の育成 ～算数科の問題解決学習における対話的な活動の工夫を通して～
129	八重瀬町立白川小学校	城田 由勝	「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり ～一人学び・対話的学びを通して
130	糸満市立真壁小学校	津嘉山 博好	主体的に学び合い自分の考えを表現できる児童の育成 ～知識や体験と思考をつなげる授業づくりを通して～
131	豊見城市立ゆたか小学校	上原 義仁	すべての児童が安心できる支持的風土のある学級づくり ～児童の主体的な行動を高めるアプローチを通して～
132	今帰仁村立今帰仁中学校	松本 優一郎	令和の日本型教育の実現に向けた研究 ～GIGAの推進と特別支援教育の充実を通して～
133	与那原町立与那原中学校	垣花 英正	自ら学習に取り組み、思考・判断・表現できる生徒の育成 ～学びの姿の見取りを生かした「与那原中スタンダードⅡ」による授業改善を通して～
134	糸満市立高嶺中学校	田名 正幸	自己肯定感を育み、汎用的な資質・能力を身に付けた生徒の育成 ～未来ノート、ルーブリック評価、キャリア・パスポートの活用を通して～
135	豊見城市立長嶺中学校	與那嶺 正樹	指導方法や指導体制の工夫改善による「個別最適な学び」の推進
136	宮古島市立西辺中学校	友利 和広	主体的に問いを持ち探求する生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを通して～
137	石垣市立伊原中学校	當銘 武志	自己肯定感を育てる授業づくりで、確かな学力を身につける
138	石垣市立北中城高等学校	田名 裕治	1. 進学希望生徒向け勉強会実施による生徒の進路選択支援拡充 2. 地域課題を探究する活動実施で生徒の大学進学への意欲拡充支援
139	沖縄県立北中高等学校	上地 さとみ	効果的なインクルーシブ教育を推進する取組 ～バリアフリー教材及び授業の改善と工夫～
140	沖縄県立沖縄ろう学校	大城 麻紀子	主題：視覚的情報保障によるわかる授業を目指して 副題：目標に準拠した評価の視点を意識した授業改善を通して
141	沖縄県立西崎特別支援学校	與儀 達子	重複障害児の活動目的に気づきを促すICT教育の充実について

教育団体研究助成 32団体 7,480,000円 2022 (令和4) 年度実績

No.	団体名	No.	団体名	No.	団体名	No.	団体名
1	沖縄県教職員組合	9	沖縄県小学校長会	17	沖縄県立学校事務長会	25	沖縄県へき地教育研究連盟
2	沖縄県教職員組合国頭支部	10	沖縄県中学校長会	18	沖縄県立学校事務職員協会	26	沖縄県マルチメディア教育研究会
3	沖縄県教職員組合中頭支部	11	沖縄県高等学校長協会	19	沖縄県中学校文化連盟	27	沖縄県特別支援学校情報教育研究会
4	沖縄県教職員組合那覇支部	12	沖縄県特別支援学校長会	20	沖縄県学校安全教育推進協議会	28	沖縄県公立幼稚園・子ども園長会
5	沖縄県教職員組合島尻支部	13	沖縄県公立小中学校教頭会	21	沖縄県高等学校進路指導研究会	29	沖縄県高等学校文化連盟
6	沖縄県教職員組合宮古支部	14	沖縄県高等学校教頭・副校長会	22	沖縄県高等学校定時制通信制教頭・副校長協会	30	沖縄歴史教育研究会
7	沖縄県教職員組合八重山支部	15	沖縄県特別支援学校副校長・教頭会	23	沖縄県学校体育研究連合会	31	図工美術会議
8	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合	16	沖縄県公立小中学校事務職員協会	24	沖縄県女子体育連盟	32	沖縄県特別支援教育研究会

教育研究大会助成 4団体 250,000円 2022 (令和4) 年度実績

No.	団体名	No.	団体名
1	沖縄県特別支援教育研究会	3	沖縄県適応指導教室連絡協議会
2	沖縄県情緒障害教育研究会	4	九州地区盲学校教育研究会



教育団体研究助成金目録贈呈式

教育実践研究論文 ※校種別学校コード順

最優秀賞 (2編) 研究助成金 (個人15万円・共同20万円) 2021 (令和3) 年度実績

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	沖縄県立南部農林高等学校	教諭 徳永 公男	地域農業の課題解決学習を通して、主体的・協働的に取り組む態度を育む学習活動の工夫 ～甘藷「ちゅらまる」のパイオ苗作出と普及活動による地域活性化を目指して～
2	沖縄県立沖縄盲学校	教諭 伊波 興穂	視覚障害児童の主体的・対話的な学び合いを支える集団づくりと学習活動の充実を図る取り組み ～盲学校同士をオンラインでつないだ遠隔合同授業の実践を通して～

優秀賞 (6編) 研究助成金 (個人10万円・共同15万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	那覇市立城岳小学校	教諭 神崎 歩	話し合い活動における自己肯定感の育成 ～教師の助言・価値付けの工夫を通して～
2	那覇市立さつき小学校	教諭 上原 航一郎	よりよい学級・学校生活づくりを目指し「社会参画」する児童の育成 ～セルフ・アセスメント活動を通して～
3	浦添市立神森小学校	教諭 下地 孝枝	自分との関わりで、考えを深める力を育む道徳の授業づくり ～深く考える発問と個別最適な学びの工夫を通して～
4	那覇市立首里中学校	教諭 富原 圭子	地域の美術館を活用した鑑賞授業の展開 ～県立美術館鑑賞教材の活用と3年間の見通しを持った授業実践を通して～
5	沖縄県立沖縄水産高等学校	教諭 加藤 司	水産高校における映像授業の実践と学習効果の検証 ～生徒の自習を助ける映像授業の開発とその効果的な活用法～
6	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	教諭 宜野座 雄	ポッチャの教材の価値を引き出す学習指導要領を踏まえた体育の授業の実践的研究 ～肢体不自由特別支援学校における「指導と評価の一本化」を図る取り組みを通して～

優良賞 (30編) 研究助成金 (個人5万円・共同10万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	西原町立坂田小学校	教諭 城間 吉生	脳機能の発達を目的とした読み書き計算練習を基礎とした自立活動プログラムの開発 ～フラッシュ教材と全問漢字テスト、百マス計算の日々の取り組み～
2	西原町立西原東小学校	学習支援員 新井 武生	算数科授業と連動した効果的な家庭学習課題の与え方の工夫 ～学習支援員の立場からの算数学力支援～
3	沖縄市立比屋根小学校	教諭 稲嶺 保	単元を通じた質疑応答・ノートまとめのシステムで理解を深める高学年社会科の授業 ～子供が社会的現象を自らの言葉で話す・書く指導法の工夫～
4	那覇市立安謝小学校	教諭 坂名城 千夏	図画工作科における見方・感じ方を広げる児童の育成 ～造形的な視点の学習とヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ (VTS) の活用を通して～
5	那覇市立大道小学校	教諭 古波津 美香	「数学的な見方・考え方」を働かせる子どもの育成 ～学びを深める発問の工夫と振り返りを通して～
6	那覇市立松島小学校	教諭 根本 大輔	科学的な思考力・表現力を育む授業の工夫 ～「電気で明かりをつけよう」におけるロイロノートの活用を通して～
7	久米島町立久米島小学校	教諭 玉城 一己	運動に親しみをもち、自ら進んで体を動かす児童の育成 ～運動環境等の充実による運動意欲の向上を目指した取組を通して～
8	糸満市立糸満小学校	教諭 仲座 由一郎	主体的に学習に取り組む態度を養う算数科における学習指導の工夫 ～自己調整学習の循環サイクルを取り入れた単元構成を通して～
9	南風原町立南風原小学校	教諭 野原 賢一 奈里子	児童の困り感の改善を図る取組 ～動作法を活用した自立活動の実践を通して～
10	宮古島市立南小学校	教諭 上地 洋平	論理的思考力を育む説明的文章での授業づくり ～三角ロジック「根拠、理由、主張」を活用した思考活動を通して (第6学年) ～
11	宮古島市立東小学校	教諭 池間 康子	生き生きと書く子の育成 ～書くことにおける指導と評価の一体化と言語環境の充実を通して～
12	宮古島市立東小学校	教諭 五條 晶	「自ら課題を見つけ、自ら学ぶ」自治的な集団づくり ～自発的・自治的な社会活動を通して～
13	石垣市立八島小学校	教諭 大城 亜美	児童に「問い」を持たせる学習指導の工夫 ～国語科で「初発の感想」から組み立てる授業作り～
14	今帰仁村立今帰仁中学校	教諭 北島 幸三	端末導入初期段階での活用スキル習得プログラムについての研究 ～総合的な学習時間での端末活用の工夫を通して～
15	糸満市立三和中学校 大度分校	教諭 長嶺 由希也	理科の学習における「科学的な見方・考え方」を育むための指導法に関する研究 ～ロジックツリーを活用したワークシートによる仮説設定の検証～
16	竹富町立波照間小中学校	教諭 仲里 研一郎 平田 芽香	思考力・判断力・表現力の育成を目指したロボットクラブの取り組み ～PDCAサイクルを活かした主体的・対話的で深い学びのロボット製作を通して～
17	沖縄県立石川高等学校	教諭 大城 美香子	「4分33秒」間に聴こえるもの ～わからない音風景～
18	沖縄県立那覇商業高等学校	教諭 島袋 智識	社会で起きている問題を「自分ごと」と捉え、「自分なりの解決策」を考え・行動する力の育成 ～SDGsをテーマとした放課後特別講座の実践を通して～
19	沖縄県立那覇商業高等学校	教諭 安次富 民子	「しまくとぅばの普及」につながる学社融合型国語授業の工夫 ～古文教材「児のそら寝」の訳を通して (第1学年)～
20	沖縄県立浦添工業高等学校	教諭 下地 佑季 実習助手 城間 勇治 大城 篤	調理における専門的知識・技術の習得を図る効果的な教科指導の工夫 ～ICT機器を活用した授業の実践を通して～

No	学校名	職名・氏名	研究テーマ
21	沖縄県立那覇国際高等学校	教諭 山崎 太志	自ら設定した「問い」への探究活動を通して物語を読む力を育成する ～夏目漱石「こころ」を探究し、より深く味わう～
22	沖縄県立泡瀬特別支援学校	教諭 金城 文子	数学のよさを実感できる授業を目指して ～数学カフェへようこそ～
23	沖縄県立沖繩高等特別支援学校	栄養教諭 伊集 広子 教諭 土屋 知子 寄宿舎指導員 比嘉 育子 寄宿舎指導員 比嘉 良征 嘉数 亮 豊里 さより	全寮制特別支援学校における会食時の新型コロナウイルス感染症防止対策と食育の取り組み ～新しい会食マナーの指導をとおして～
24	沖縄県立沖繩高等特別支援学校	教諭 長浜 洋平	生徒の社会的自立を目指した寄宿舎生活指導の取り組み ～自立活動の視点に基づく「生活の記録」の見直し、学部・保護者との連携～
25	沖縄県立はなさき支援学校	教諭 玉城 悠太	生徒の読み聞かせを基盤とした主体的で対話的な授業の実践 ～オリジナル絵本の作成を通して～
26	沖縄県立大平特別支援学校	教諭 赤嶺 太亮	書字に困難のある児童への書字指導の工夫と実践 ～ヨコミネ式を取り入れた書字指導を通して～
27	沖縄県立大平特別支援学校	教諭 稲田 政博	知的障害を伴う自閉症児の行動支援に関する研究 ～注意の散漫さを補い「自分のことは自分でやりたい」を支えるテクノロジーの活用～
28	沖縄県立那覇特別支援学校	教諭 森 陽平	肢体不自由教育特別支援学校におけるカリキュラム・マネジメントの充実 ～新学習指導要領実施に係る課題の整理と具体的取り組みについて～
29	沖縄県立西崎特別支援学校	教諭 戸ヶ瀬 哲平	五感で見方・考え方を深め、表現力の幅を広げる美術の工夫 ～ICTと具体物を併用した制作活動を通して～
30	沖縄県立八重山特別支援学校	教諭 戸ヶ瀬 哲平	表現と鑑賞が一体化した写真の授業 ～身近な文具を用いて試行錯誤を繰り返すデジタル写真教材の開発～

③ 教育文化事業 ～豊かな文化を育むために～

◎2022(令和4)年度

子どものためのクラシックコンサート	いっこく堂講演会	文化講演会
<p>(八重山地区：9校で実施) 5/30(月)～6/3(金)</p> <p>5/30(月)・真喜良小学校 ・崎小中学校 5/31(火)・新川小学校 ・竹富小中学校 6/1(水)・登野城小学校 6/2(木)・上原小学校 ・大原小学校 6/3(金)・川原小学校 ・大本小学校</p> 	<p>(中頭地区：9校で予定) 11/7(金)～11/11(金)</p> <p>11/7(月)・西原中学校 ・北中城中学校 11/8(火)・越来中学校 ・美東中学校 11/9(水)・安慶田中学校 ・高江洲中学校 11/10(木)・桑江中学校 ・宜野湾中学校 11/11(金)・津堅中学校</p> 	<p>第30回 教育実践研究論文表彰式(2023(令和5)年1月21日(土))において、木村 草太氏(憲法学者・東京都立大学法学部 教授)を講師に記念講演を予定しています。</p> 

教育文化助成 18校 1,800,000円 2022(令和4)年度実績

No	学校名	学校長名	研究テーマ
1	中城村立中城中学校	鹿川 義晃	生徒会での主体的な活動の取組みと学びに向かう生徒の育成
2	沖縄県立山内中学校	伊波 寛仁	地域とともにある山内中学校生徒会活動の充実に向けて
3	竹富町立船浦中学校	宮城 裕子	ふるさと学習・自己発見
4	沖縄県立コザ中学校	上里 厚	「コザを愛し、将来コザに貢献できる生徒の育成」～ガーデニングを通しての生徒の育成と学校・地域貢献～
5	糸満市立喜屋武小学校	黒島 佐和子	校内緑化推進に特化した、環境整備の充実と「みさきっ子」の勤労に協力する心や感謝する心の育成に資する
6	那覇市立神原小学校	石垣 史昭	異年齢学習活動「ミラクリ」プロジェクト ～未来へ向かってミッションクリア～
7	那覇市立安岡中学校	比嘉 真一郎	輝学祭(安岡中学校学習発表会)
8	宮古島市立南小学校	天久 康	豊かな心の育成を目指した体験活動 ～一人一鉢栽培活動を通して～
9	沖縄県立高原小学校	平良 その子	令和4年度 学習発表会
10	恩納村立山田小学校	山内 久江	沖縄の伝統文化の伝承活動
11	沖縄県立西原高等学校	安次富 利恵子	沖縄キリスト教院大学及び沖縄キリスト教短期大学と沖縄県立西原高等学校との包括連携協力
12	那覇市立天久小学校	宮里 寿子	自然に親しみ心豊かな児童を育成する校内緑化環境づくり
13	沖縄県立島袋小学校	松田 忠	わくわく動物ランドづくり ～ふれあい体験活動を通じた豊かな学び～
14	沖縄県立島袋幼稚園	松田 忠	絵本に親しみ環境づくり ～読書活動へとつなげる絵本とのふれあい～
15	宮古島市立上野中学校	渡久山 英徳	宮古島市花であるブーゲンビリアや学校菜園で野菜や果物の栽培を通して心を豊かにする
16	沖縄県立はなさき支援学校	濱元 伸	児童生徒の主体性を育む教材・教員開発 校内教育環境の整備、充実を目指した取り組み
17	那覇市立曙小学校	又吉 元晃	地域素材を生かしたキャリア教育の充実
18	浦添市立宮城小学校	田島 正敏	地域の小湾地区に伝わる「小湾アギバリー」について調べ、伝えよう

へき地学校教育支援助成 20校 1,000,000円 2022(令和4)年度実績

No	学校名	学校長名	研究テーマ
1	久米島町立久米島小学校	古賀 義之	互いに伝え合い、深い学びを追求する児童の育成
2	石垣市立吉原小学校	大浜 公三枝	地域の特性を活かした体験的な学習の充実を図る
3	宮古島市立鏡原小学校	花城 修	児童の体力向上
4	石垣市立伊野田小学校	真玉橋 真由美	地域を深く知り、主体的に関わる児童の育成
5	竹富町立波照間中学校	馬上 晃	主体的・対話的に学習し、じりつできる児童生徒の育成 ～技術科の「ものづくり×プログラミング」学習を通して～
6	久米島町立仲里小学校	野原 洋子	個々の発達・教育的ニーズに応じた指導の充実を目指して
7	久米島町立清水小学校	野原 勉	「読み取る力」を伸ばす文学的な文章の指導法 ～根拠となる言葉を見つけよう～
8	宮古島市立鏡原中学校	濱川 成共	「菊まつり」を通して勤労・奉仕を尊ぶ心や自然を愛する心、思いやりの心、感動する心、生命尊重の心などの豊かな感性を育む
9	南城市立久高小学校	糸洲 修	地域や保護者と連携し、子どもたちの資質を高める事を目的とする事業
10	南城市立久高中学校	糸洲 修	地域や保護者と連携し、子どもたちの資質を高める事を目的とする事業
11	宮古島市立狩俣小学校	村吉 博勝	見て・参加して・伝えて学ぶ地域のよさ
12	宮古島市立西辺小学校	与那覇 淳	自ら学び、考えを伝え合う児童の育成 ～書く力を育てる国語科の授業～
13	石垣市立名蔵小学校	入高西 清幸	キャリア発達を促す、授業作り・授業改善
14	久米島町立美崎小学校	山里 昌樹	島に誇りを持ち、未来に向かって創造的に働きかける力を身に付けた児童の育成 ～総合的な学習の時間における、地域教育資源を活用した環境教育を通して～
15	宮古島市立下地中学校	狩俣 典昭	第43回 下地中学校「強大会」
16	宮古島市立西辺中学校	友利 和広	地域や学校の特性を生かした体験活動
17	石垣市立伊原間中学校	當銘 武志	校内研究テーマ「自己肯定感を育てる授業づくり」で、確かな学力を身につける」
18	竹富町立大原中学校	石原 昌英	生徒会活動を通じた自律的な生徒の育成
19	宮古島市立狩俣中学校	前泊 一郎	生徒一人ひとりの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践の充実
20	宮古島市立西城小学校	砂川 義治	問いをもち、主体的に課題を解決していく児童の育成を目指して

2. 福祉事業

教職員の福祉の充実に努めています

2021 (令和3) 年度実績 (5,098件 17,135,900円)

教弘保険加入会員へお知らせ

区分	件数	金額
1.結婚祝金	135	1,350,000円
2.出産祝金	317	1,585,000円
3.入学祝金	258	1,290,000円
4.健康増進補助 「人間ドック・脳ドック」の補助	4,085	12,253,500円
5.宿泊補助	251	501,400円
6.研修旅行補助	0	0円
7.教員免許更新補助	52	156,000円

～ 教員免許更新補助について ～

教員免許更新制の廃止に伴い、免許更新を行っていない場合でも下記の条件をいずれも満たす場合は補助をおこないます！

- 講習を受講済で修了証明書がある方
- 免許の有効期限が令和5年3月末までの方

必要書類

- 教員免許更新補助金申請書
- 免許状更新講習修了証明書(写)
- 教員免許状(写)又は所有免許状確認票(写)
(免許の有効期限が確認できるもの)

※免許更新済の方も補助対象です。
(ただし、交付日から1年以内)

必要書類
・教員免許更新補助金申請書
・更新講習修了確認証明書

申請期限：2023(令和5)年2月末

日教弘をサポートする会員を募集しています。

ご入会についてのご案内

- WEBまたは入会申込書にてご入会ください。
- 会費等費用は、一切不要です。
- 会員になられた方は、当会の共済事業に参加することができます。
- 入会された方には、会員証をお送りします。会員証には、福利厚生をサポートする『日教弘クラブオフ』の利用証が付帯されます。

WEBからの入会はこちら▶



公益財団法人 日本教育公務員済済会 会員証
≪日教弘クラブオフ利用証≫

日教弘の主要事業

1. 教育振興事業
● 奨学事業 ● 教育研究助成事業 ● 教育文化事業
2. 福祉事業
3. 共済事業(提携保険事業)

日教弘クラブオフ利用のための連絡先

日教弘コールセンター▶ 0800-919-6189 (通話料無料)

ホームページ▶ <https://www.club-off.com/nikykyoko/>

● 日教弘クラブオフの特典 ●

<p>ホテルや旅館 国内約20,000施設 最大80%OFF</p>	<p>グルメ 全国40,000店以上 最大50%OFF</p>
<p>スポーツクラブ 全国約2,500カ所以上 会員優待価格</p>	<p>映画館 全国約300館 会員優待価格</p>

※写真はイメージです。

他にも暮らしに役立つメニューやプレゼント企画など！

■ 会員証紛失 / 名義・住所変更等お問合せ先

「日教弘クラブオフコールセンター」 Tel: 0800-919-6189 (通話料無料) (10:00 ~ 18:00 年末年始除く)

日教弘クラブオフから「先生応援サイト」が利用できます。

先生にとってなくてはならない身近なものをお届け！
「なんだか元気が出てきたかも！」といった先生のメンタルサポートから「これが欲しかった！」というような業務を直接サポートできる内容まで先生の声から生まれたコンテンツがございます。今後もコンテンツが充実し続けていきます！

先生応援サイト
Supporting Teachers
OPENしました

先生応援サイトにアクセス方法
日教弘クラブオフにログイン後、先生応援サイトのバナーをクリック！

忘れられない言葉がある
Thanks Teachers

がんばれ、新人先生！
Good for Teacher Life

授業の助っ人
Videos

コンテンツ紹介
イラストとエピソード付きで「ありがとう、先生！」から抜粋したことを掲載！

新規採用者向けコンテンツとして、困ったときのシチュエーションのイラストと説明文で社会人マナー・お役立ち情報を見やすく・わかりやすく説明！

元GANMI (BTSの振付師)のYU-KIさんによる先生向けのダンス動画をはじめ複数の動画を掲載！

その他 福祉事業

- ・ 入会后、教弘保険にご加入いただくと、日教弘クラブオフの福利厚生サービスに加え、当支部独自の様々な福祉事業(健康増進補助、結婚・出産・入学祝金、宿泊補助、教員免許更新補助等)の給付を受けることができます。

新規に教弘保険に加入した方

ご自宅に会員証が送付されます。(通常、加入申込月の翌月末頃)もしも届かない場合は、日教弘への入会手続きが完了していないことが考えられます。入会申込がまだの方は、入会の手続きをお願いいたします。Webからの入会も可能です。

日教弘沖縄支部

入会申込状況 速報!

2022(令和4)年4月以降、新たに**292名**の教職員の皆さまにご入会申込みいただきました。日教弘の会員になりますと、「日教弘クラブオフ」の様々な特典が受けられます。引き続き、皆さまのご入会をお待ちしています。

ご入会ありがとうございます

2022(令和4)年4月以降の入会申込状況は以下の通りです。

● 入会申込内訳 (2022年4月1日～9月6日)

性別	件数	割合
男性	104	35.6%
女性	188	64.4%

年齢	件数	割合
10代	1	0.3%
20代	125	42.8%
30代	70	24.0%
40代	46	15.8%
50代	42	14.4%
60代	8	2.7%
70代	0	0.0%
80代以上	0	0.0%

申込様式	申込数	占率
Web	222	76.0%
書面	70	24.0%

(第77回理事会資料より ※9月6日時点)

まだ会員になられていない教職員の皆さまについては、引き続きご入会の申込を募集しています。

Webまたは入会申込書にてぜひご入会ください。皆さまのご入会をお待ちしています！

「日教弘クラブオフ専用ホームページ」
<https://www.club-off.com/nikykyoko/>



教職員のみなさま専用の保険

教職員賠償責任保険

+ 団体総合生活保険(まなびや)

教弘まなびやスーパープラン

学校での業務中

～こんなケースで教職員個人が訴えられることも～

日常生活

生徒を注意したら
人格権の侵害と
訴訟を起こされる。

部活動指導中に
生徒がケガをし入院。
顧問として
お見舞いに行った。

旅行先で
スマートフォンを
落として壊した。

自転車で
他人に
ケガをさせた。

いじめへの対応
が適切でなかったとして、
保護者から損害賠償を
請求された。

一方的に
パワハラ
だと訴えられた。

階段から落ちて
ケガをした。

新型コロナ
ウイルス^(注)
感染症に
かかった。

ペットが他人に
噛みついた。

(注)2022年2月現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は感染症の予防及び
感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項第3号に規定されています
ので、補償対象となります。

約 **41%** 割引

約12,000人の方々が
ご加入されています

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活
保険(まなびや)」の概要について説明したものです。
保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は
団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点が
ありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日
動火災保険(株)におたずねください。ご加入に際しては、
必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

2022年3月作成 募集文書番号21-T05608

団体総合生活保険(フルガード)

ご自身のケガ

【傷害補償】

教弘フルガード

日常生活のケガやトラブルに。

教職員退職者やご家族の方もお得な団体割引でご加入いただけます。



新型コロナウイルス^(注)
や
O157の補償

<特定感染症危険補償特約>
特定感染症を発病した場合に、
後遺障害・入院・通院の
各保険金をお支払いします。

詳しくはこちらを
ご確認ください →



団体割引・損害率による
割引あわせて

約 **41%** 割引

※天災危険補償部分
の保険料は、団体
割引のみ適用とな
ります。

特定感染症とは

「感染症の予防及び感染症の患者に
対する医療に関する法律(感染症
法)」に規定する一類感染症、二類感
染症、三類感染症、新型コロナウイルス
感染症^(注)または指定感染症^{※2}
をいいます。

(注)2022年2月現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は感染症の予防及び
感染症の患者に対する医療に関する法律第6条第7項第3号に規定されていま
すので、補償対象となります。

※1 本特約は全件付帯です。
※2 指定感染症は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
(感染症法)」の規定に基づき一類感染症、二類感染症または三類感染症に適用
される規定と同程度の措置が講じられることが法令で定められている場合に限
ります。

2022年3月作成 募集文書番号21-T05605



教職員のみなさま専用の団体長期障害所得補償

団体総合生活保険

団体割引

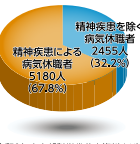
教職員収入ロングウェイサポート

約 **30%** 割引

<認知症・メンタル疾患補償特約>
認知症・メンタル疾患への補償も充実!

●病気休職者のうち約68%が精神疾患による休職です。

●精神疾患に加え
「アルツハイマー病等
の認知症」により働け
なくなった場合に収入
を最大5年間補償
します。



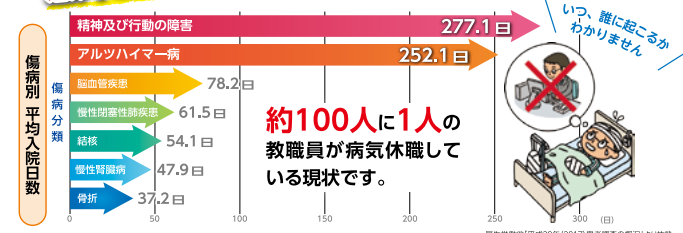
<介護と仕事の両立支援特約>
働きながらの介護を支援します!

働きながら介護に従事する人 介護による離職者数



近年、働きながら介護に従事する人、離職する人が急増しています。介護休業や短時間勤務中の収入を最大1年間補償することで、仕事と介護の両立をサポートします。

長期入院リスク、
意外とあるんです。



このご案内は、「団体総合生活保険」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険(株)におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

2022年3月作成 募集文書番号21-T05613

ホームページから資料請求いただいた方にもれなく粗品をプレゼント →

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 www.nikyoko.or.jp



各種保険のお申し込み・お問い合わせ資料請求先は

代理店 (株)沖縄教弘 TEL 098(867)1765
〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-7-12
提携・引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店 沖縄支社
TEL 098-867-7733 (代表)

3. 共済事業 (提携保険事業)

※(公財)日教弘では70年以上にわたりジブラルタ生命と提携して共済事業(提携保険事業)を実施しています。

退職予定者説明会 11月、12月に6地区で実施予定

2022年度退職予定者説明会及びセミナーを11月(定年)、1・2月(早期退職)に下記の通り行います。

八重山	11月19日(土)午前 / 2月11日(土)午前
宮古	11月20日(日)午前 / 2月12日(日)午前
国頭	11月27日(日)午前 / 2月4日(土)午前
中頭	11月27日(日)午後 / 2月4日(土)午後
那覇	11月26日(土)午前 / 1月28日(土)午前
島尻	11月26日(土)午後 / 1月28日(土)午前

教弘参事紹介

教弘参事の皆さんが学校等にお伺いして(公財)日教弘沖縄支部の事業内容についてご説明させていただいております。どうぞよろしくお願い致します。

新任参事紹介



朝盛 知念 前 知念小学校校長 島尻地区担当

ハイサイ!今年度より、日教弘沖縄支部の参事として活動させていただくことになりました。「最終受益者は子どもたち」の理念のもと、3大事業「教育振興事業・福祉事業・共済事業」を推進し、県内の児童生徒、教職員及び、関係者の皆さんへの支援に全力で取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



靖 仲間
元 開邦高校校長
県立学校(国頭地区除く)担当



邦明 金城
元 久志中学校教頭
国頭地区(県立学校含む)担当



思信 與古田
元 兼原小学校校長
中頭地区担当



昇 真喜志
元 曙小学校校長
那覇地区担当



邦昭 屋嘉比
元 池間小中学校校長
宮古地区担当



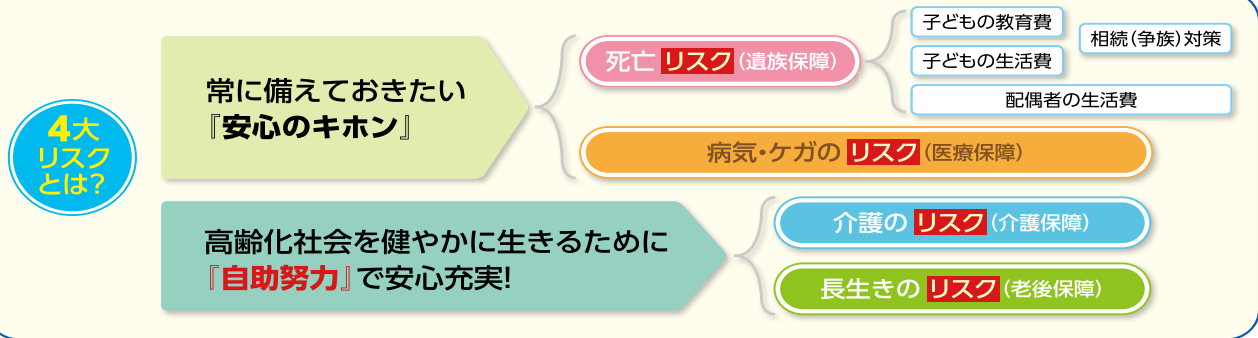
幸子 石垣
元 名蔵小中学校校長
八重山地区担当

リスクに備える

〜「原は先生の杖」は ご家族の「お守り」でもあるのです〜

いつも子どもたちのために全力投球されている教職員の皆さま。皆さまが安心して暮らしていくためには4大リスクへの備えが重要です。高齢化がますます加速している今、一度立ち止まって皆さまとご家族の将来について考えてみませんか?

現職中も退職後も『4大リスク』への備えは重要です!



『4大リスク』に対応する教職員の皆さまのための教弘保険ラインアップ

ユース教弘保険 災害割増特約付 集団契約特約付勤労保険	新教弘保険 集団契約特約付勤労保険	新教弘医療保険α (無配当) 医療保険(14) (保険料払込中無解約返戻金型)	新教弘介護保障付 終身保険 (無配当) 介護保障付終身保険 (低解約返戻金型)	新教弘米国ドル建 個人年金保険 (無配当) 米国ドル建 個人年金保険(19)
--	-----------------------------	---	---	--

公益財団法人 日本教育公務員弘済会(略称:公財)日教弘の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

- ◆為替リスクについて——— 新教弘米国ドル建個人年金保険は米国ドル建であり、米国ドルを円に換算するときに為替相場の変動による影響を受けます。したがって、年金受取総額等(米国ドル)を円に換算した場合の金額が、お払いいただいた円建払込額(円建保険料)を下回ることがあり、損失を生じるおそれがあります。
 - ◆ご契約にかかる費用について——— 為替交換時(外貨⇄円)には為替交換手数料がかかります。また、保険契約の締結・維持、死亡保障に係る費用等が発生します。
- ※ご契約の際はジブラルタ生命のライフプラン・コンサルタントを通じて「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。
●記載の内容は2022年9月現在のものであり、今後変更されることがあります。

共済事業(提携保険事業)提携会社 **ジブラルタ生命保険株式会社** 本社/〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10

教職員のお客様 **0120-37-9419** (通話料無料)
ご高齢のお客様 **0120-16-7895** (通話料無料)

ジブラルタ生命 沖縄支社各営業所連絡先

営業所名	電話番号	FAX
名護	0980-52-2517	0980-53-3045
コザ第一	098-974-5231	098-974-5188
コザ第二	098-974-5233	098-974-5281
沖縄第一	098-860-1271	098-866-5408
沖縄第二		
沖縄第三		
沖縄第四	098-850-0805	098-850-0969
豊見城第一		
豊見城第二	0980-72-1766	0980-75-4717
宮古島	0980-82-2733	0980-83-1635

こんな時はお電話を

- 病気やケガをされた場合
- ご登録いただいている内容に変更があった場合
- ご契約の内容を変更したい場合
- 保険証券をなくされた場合

その他、お気軽にご相談ください。

教弘保険に関するお問い合わせは、教職員専用ダイヤルへ

各種お問い合わせは、ジブラルタ生命コールセンターまで

教職員専用
通話料無料 **0120-37-9419**

※この他に一般顧客用 0120-37-2269 もご利用ください。

受付時間
平日 9:00~18:00
土曜 9:00~17:00
(日・祝・12/31~1/3を除く)

この「きょうこう通信 No.025」を
お届けしたのは

営業所

です。

どうぞご覧ください